

iPad授業ガイド



小学校2年 生活



はじめに

このガイドについて

このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

1. 見つける

体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

2. プランを立てる

収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



4. 評価する

自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

3. 創る

スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。[文部科学省作成の情報活用能力の体系表\(16ページ以降\)](#)は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。小学校低学年向けのガイドでは、ステップ1に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランス良く伸ばしているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

[ルーブリックをダウンロードする](#)

実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

学習内容の概要

単元

野菜の成長の観察記録

iPadを使って、身近にある題材をその場で撮影したあと、拡大鏡アプリで詳しく観察し、記録としてまとめます。写真で経過をまとめていくことで、植物の成長を視覚的に理解することができます。

自分のまちの探検

iPadを使って、住んでいる地域について自ら調べたことを生徒同士で共有し、実際にまちに出てインタビューを行う様子を撮影します。地域の人との交流によって、身近な人々や社会への関心を持つことができます。

ありがとうの気持ちを届ける

生徒同士で話し合いながら1年間の自分の成長を振り返り、各自で感謝の気持ちを伝えるカードを作ります。支えてくれた人たちがいることに思いを巡らせながら、ミー文字やイラストなどで気持ちをより伝わりやすく表現することができます。

活動内容

- ①観察記録をはじめよう
- ②成長の様子をくわしく記録しよう
- ③観察記録を発表しよう
- ④観察記録を比べてみよう

- ①地図の見方を知り、道順を考えよう
- ②まちの探検計画を立てよう
- ③インタビューを集めよう
- ④発表をお互いに評価しよう

- ①自分の成長を振り返ろう
- ②ミー文字を作ろう
- ③ありがとうカードを作ろう
- ④感謝を伝えたい相手に見せよう



使用するアプリ



野菜の成長の観察記録

iPadを使って、身近にある題材をその場で撮影したあと、拡大鏡アプリで詳しく観察し、記録としてまとめます。写真で経過をまとめていくことで、植物の成長を視覚的に理解することができます。

1	見つける	第1～2時 育てたい野菜を調べて決める	活動アイデア 1 5ページ 観察記録をはじめよう	7	
2				8	評価する
3	プランを立てる	第3～5時 野菜の世話をする	活動アイデア 2 5ページ 成長の様子をくわしく記録しよう	9	
4				10	
5					
6	創る	第6～7時 野菜の様子を伝え合う	活動アイデア 3 6ページ 観察記録を発表しよう		

学習目標

植物を栽培する経験を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持ち、植物に生命があることを意識する。

身につく力

植物に生命があることを意識し、生き物に親しみを持ち、大切にしようとする力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
[「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする](#) Ⓣ

*活動アイデア1～4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

野菜の成長の観察記録

見つける 活動アイデア1 観察記録をはじめよう

- ① 育てる野菜を決めて、種まきや苗植えの段階から写真に撮って記録します。地域の人たちと一緒に活動する際には、その様子も写真に撮ります。
- ② 写真アプリの**マークアップ**を使って、気づいたことを写真に書き込みます。



活用できるアプリ



カメラ 写真

情報活用能力

身近なところから様々な情報を収集する方法(ステップ1)
情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる(ステップ1)

プランを立てる 活動アイデア2 成長の様子をくわしく記録しよう

- ① 拡大鏡アプリを使って、細かい部分を観察します。
- ② 拡大鏡アプリでは、画面で見たものを写真として保存することもできます。写真を保存したあと、写真アプリのマークアップを使って、各部の名称や調べてわかった情報などを書き込みます。
- ③ 撮りためた写真の中から、特に見せたい部分が写っているものを選んで**アルバム**を作り、**メモリー**として再生し、野菜が成長する過程を視覚的に紹介することもできます。



活用できるアプリ



カメラ 拡大鏡 写真

情報活用能力

体験や活動から疑問を持ち、解決の手順を見通したり分解して、どのような手順の組み合わせが必要かを考えて実行する(ステップ1)
問題解決における情報の大切さを意識して行動する(ステップ1)

野菜の成長の観察記録

創る 活動アイデア 3 観察記録を発表しよう

- ① Pagesの「野さいのかんさつ記ろく」のワークシートに、撮影した写真を挿入し、撮影日と観察した内容を記入していきます。
- ② 育てた野菜の観察記録がまとまったら、1人ずつほかの生徒の前で発表します。その野菜の成長過程で印象的だったこと、驚いたことなどに加えて、観察する時や記録をまとめる時に工夫したことなどをクラスで話し合います。

「野さいのかんさつ記ろく」のワークシートをダウンロードする 



活用できるアプリ



Pages

小学校2年 | 生活

情報活用能力

画像編集・ペイント系アプリケーションの操作(ステップ1)
相手を意識し、わかりやすく表現する(ステップ1)
情報の活用を振り返り、良さを見つけようとする(ステップ1)

さらに学びを深める マルチメディアを活用した観察記録を作ろう

- 野菜が発芽したところや、小さな実がついたところなど、写真の見せたい部分を拡大して表示してみましょう。
- 苗を植えた時、花が咲いた時、収穫した時などに感じたことを声で説明して録音し、**オーディオファイル**として観察記録のページに配置することができます。
- 観察記録の同じ日に、複数の写真を入れたい場合は、**イメージギャラリー**を使うと見やすくまとめることができます。

評価する 活動アイデア 4 観察記録を比べてみよう

お互いの観察記録を比べて、それぞれの良かったところやもっと考えたほうがよいところについて意見を出し合い、共有します。そうすることで、植物を育てた体験で気づいた成長の変化や、育てるために大切にすることを、自分の言葉でまとめられるようになります。

自分のまちの探検

iPadを使って、住んでいる地域について自ら調べたことを生徒同士で共有し、実際にまちに出てインタビューを行う様子を撮影します。地域の人との交流によって、身近な人々や社会への関心を持つことができます。



学習目標

自分のまちの様々な場所を訪ねたり、施設を利用したりして、住んでいる地域と自分との関わりを見つけ、地域の場所や人たちに親しみを持つ。

身につく力

地域の人たちや場所に親しみをもち、適切な接し方や安全に配慮して生活する方法を理解する力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

自分のまちの探検

① 見つける 活動アイデア 1 地図の見方を知り、道順を考えよう

- ① マップアプリを使って、住んでいる地域を探索します。レストランやコンビニなどのお店や、図書館や市民会館などの公共施設を探します。地図の表示方法を交通機関や航空写真に変えて、学校をスタート地点とし、道路や交通機関を確認します。マップを2本指で回転させると右上の方位磁針アイコンで方角がわかります。
- ② まちのどこへ行くのか、どのような手段で行くのかを確認します。地図をスクリーンショットに撮り、安全に、効率良く探検できる道順を考え、マークアップで記入します。

💡 iPad活用のヒント

マップアプリで探した施設などを、あとで見つけやすくするためにピンで場所をマークしましょう。マークしたい場所を長押しすると、その場所をマークすることができます。削除するには、ピンをタップして、左側に表示される場所カードで「削除」をタップします。

活用できるアプリ



マップ

情報活用能力

情報の大体を捉える方法(ステップ1)
情報を複数の視点から捉えようとする(ステップ1)

② プランを立てる 活動アイデア 2 まちの探検計画を立てよう

- ① まちを探検し、どこで、誰に、どのようなことを聞きたいかをクラスで話し合っ Numbersでリストにまとめます。
- ② 行き先ごとにグループを組み、インタビューの質問や撮影に適した場所などを考えます。グループ内でインタビュアーや撮影担当などの役割を決めておくと、取材する際もスムーズに進みます。
- ③ 計画を立てたら、Keynoteの「まちたんけんビンゴ」のワークシートに、インタビューしたい人のいる施設を記入しておきます。



活用できるアプリ



Numbers Keynote

情報活用能力

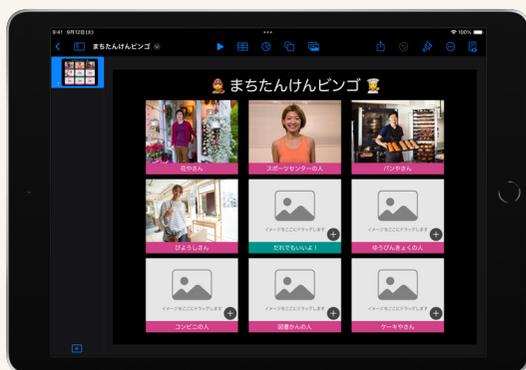
簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法(ステップ1)
身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する(ステップ1)

自分のまちの探検

創る 活動アイデア 3 インタビューを集めよう

- ① 実際にまちに出かけてインタビューをし、その様子をビデオに撮影します。撮影したビデオをKeynoteに読み込んで、「まちたんけんビンゴ」のマスを埋めていきます。また、インタビューに気持ちよく答えてもらえるように、撮影をする際はまず挨拶をする、必ず撮影の許可をもらうなどの注意点を生徒たちと話し合います。
- ② ビンゴのマスが全部埋まったら、クラスでまち探検の発表会を開催します。

「まちたんけんビンゴ」のワークシートをダウンロードする 



活用できるアプリ



小学校2年 | 生活

情報活用能力

コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作(ステップ1)
身近なところから様々な情報を収集する方法(ステップ1)
コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、
行動しようとする(ステップ1)

さらに学びを深める 様々な方法で、いろいろな人に伝えよう

- 撮影場所の写真を地図上に表示してみましょう。撮影場所を記録しておきたい場合は、カメラアプリなどで[位置情報サービス](#)を利用できるよう事前に設定しておきましょう。
- [FaceTime](#)のビデオ通話を使って、自分たちのまちの良さを、ほかの学校の生徒に紹介しましょう。実際にまちに出て、いろいろな場所からまちにちなんだクイズを出したり、質問に答えたりします。

評価する 活動アイデア 4 発表をお互いに評価しよう

生徒同士でそれぞれの発表を評価し合います。取材の仕方やインタビューの内容について意見を交換したり、自分たちのまちについて新たに発見したことを話し合ったりしてもよいでしょう。その後、これまでの活動を通して、地域の人たちや場所に対してどのように関わればよいのか、気づいたことを自分の言葉でまとめます。見つけたことやわかったことなどをみんなに伝え合う活動を通して、地域に関わる気持ちが育ちます。

ありがとうの気持ちを届ける

生徒同士で話し合いながら1年間の自分の成長を振り返り、各自で感謝の気持ちを伝えるカード作ります。支えてくれた人たちがいることに思いを巡らせながら、ミー文字やイラストなどで気持ちをより伝わりやすく表現することができます。

1	見つける	第1~3時 自分のことを振り返る	15	評価する	
2			16		
3			17		
4	プランを立てる	第4~9時 自分のことを調べる	18		活動アイデア 1 11ページ 自分の成長を振り返ろう*
5			19		
6			20		
7			21		活動アイデア 2 11ページ ミー文字を作ろう*
8			22		
9			23		
10	創る	第10~17時 自分についてまとめる	24		活動アイデア 3 12ページ ありがとうカードを作ろう
11			25		
12			26		
13			27		活動アイデア 4 12ページ 感謝を伝えたい相手に見せよう
14					

学習目標

自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気づき、自分の成長を支えてくれた人たちに感謝の気持ちを持つ。

身につく力

これからの学習や生活への期待や目標を持って意欲的に生活しようとする力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。
*活動アイデア1と2は、単元の前半で行った活動を振り返りながら行う前提としています。

ありがとうの気持ちを届ける

見つける 活動アイデア1 自分の成長を振り返ろう

- ① 入学してからの自分の写真や作品などを手がかりとして、できるようになったことや、一生懸命取り組んだことを振り返り、身近な人に伝えたいものを1つ選びます。
- ② ペアやグループで振り返った内容を共有し、ほかの生徒の意見も取り入れます。自分がどんな人か、どんな長所があるのか、お互いにたずね合い、メモアプリやボイスメモアプリなどに記録します。
- ③ 自分の成長に関わってくれた人を思い浮かべます。友だち、教師のみなさん、家族など、すべての人たちをメモアプリに書き出し、どのような影響を与えてくれたのかの説明も添えます。

💡 iPad活用のヒント

メモに写真やビデオを追加してみましょう。画面右上の📷をタップし、「写真またはビデオを撮る」を選択するとカメラアプリが起動するのでそのまま撮影できます。「写真またはビデオを選択」をタップして、撮影済みの写真やビデオを追加することもできます。

活用できるアプリ



情報活用能力

問題解決における情報の大切さ(ステップ1)
問題解決における情報の大切さを意識しながら情報活用を振り返り、良さに気付くことができる(ステップ1)
事象と関係する情報を見つけようとする(ステップ1)

プランを立てる 活動アイデア2 ミー文字を作ろう

- ① メモアプリを使って、自分の特徴を捉えたミー文字を作成します。特徴をよくつかめるように、事前にカメラアプリで自分の顔を何パターンか撮影し、写真アプリでいつでも見られるようにしておくといでしょう。
- ② まわりの人にも意見をもらいながら、自分のミー文字を完成させます。早くでき上がったら、自分がありがとうの気持ちを伝えたい人のミー文字も追加で作成します。
- ③ ミー文字をクラスルームアプリなどを使って回収し、そのうちのいくつかをクラス全体に見せ、誰のミー文字か当てるクイズを出します。



活用できるアプリ



情報活用能力

画像編集・ペイント系アプリケーションの操作(ステップ1)
コンピュータの存在(ステップ1)

ありがとうの気持ちを届ける

創る 活動アイデア 3 ありがとうカードを作ろう

- ① 活動アイデア1で振り返ったことと、活動アイデア2で作成したミー文字を組み合わせて、Pagesの「ありがとうカード」のワークシートを使って作成したカードを感謝の気持ちを伝えたい相手にプレゼントします。
- ② ワークシートをダウンロードして配布すれば、ミー文字を入れて、文字を追加するだけで簡単にカードが完成します。文字要素に重点を置いた活動にしたい時は、**オブジェクトをロック**しておくこともできます。
- ③ 色を変えたり、自作のイラストを追加したりして、自分らしくアレンジすることもできます。完成したら、ワークシートの不要なページを削除してPDFに書き出すか、プリントアウトして共有します。

「ありがとうカード」のワークシートをダウンロードする 



活用できるアプリ



Pages

小学校2年 | 生活

情報活用能力

相手に伝わるようなプレゼンテーションの方法(ステップ1)
問題解決における情報の大切さを意識して行動する(ステップ1)

さらに学びを深める クラスで発表しよう

- カードを見せながら、感謝したい人とその理由を自分の言葉でほかの生徒に伝えます。ほかの生徒の作品でヒントになるようなものがあれば、それを取り入れて、さらにカードを改善しましょう。
- 好きな色や服など、ミー文字作成時にこだわった部分にも触れて説明してみましょう。
- 「オーディオを録音」を使って、ありがとうの気持ちを音声で録音し、活動アイデア3で作成したPagesのファイルに追加することもできます。**デジタルブック(EPUB)として書き出せば***1、録音したメッセージを様々なデバイスで聞くことができます。

*1) Everyone Can Create: スケッチ「ブックデザイン」 95ページ

評価する 活動アイデア 4 感謝を伝えたい相手に見せよう

活動アイデア3で作ったカードを、感謝を伝えたい人に見てもらいながら、これまでの自分の成長と一緒に振り返ります。さらに、これからの自分の学習や生活のあり方について、もらった言葉やアドバイスなどと関連付けて自分の言葉でまとめます。そうすることで、これからの自分の成長に期待する心や、自分の思いを表現する力など、豊かな人間力が身につきます。

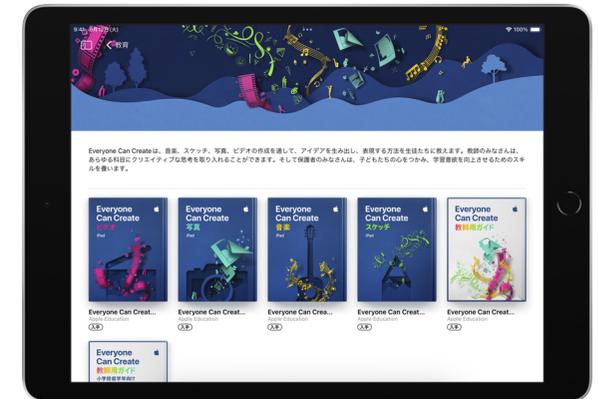
Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

[さらに詳しく >](#)



Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

[さらに詳しく >](#)

